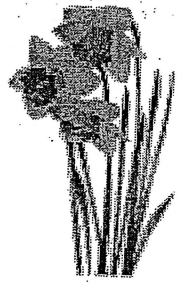


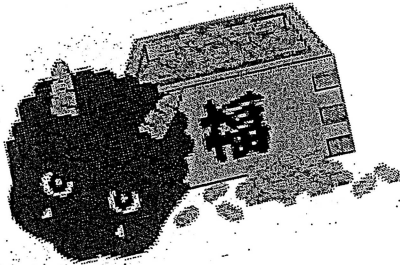
地区だより



Vol. 62

2008. 02. 08

発行 西湘放射線技師会



新年明けましておめでとうございます。

会員・賛助会員の皆様に於かれましては、健やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

皆様にとりまして本年度も素晴らしい一年となる事を心からご祈念申し上げます。

本年は、西湘放射線技師会の役員改選の年であります。

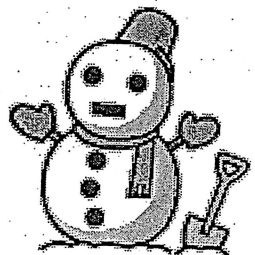
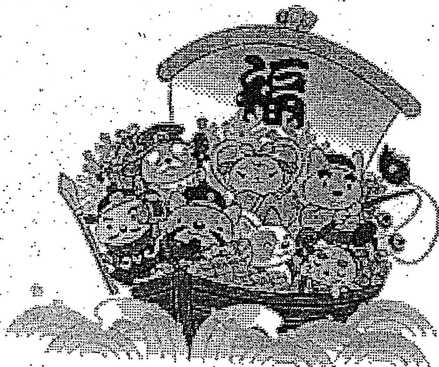
現役員任期は残すところ2ヶ月となりましたが、任期の2年間円滑な会運営が出来ました事は、ひとえに会員並びに賛助会員の皆様のご協力の賜と感謝致しております。

本会が、役員改選による新役員により、益々飛躍するためには会員の皆様のご協力が不可欠となります。

どうぞ、本年も会の活動を盛り上げていく為に、更なるご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

西湘放射線技師会 副会長

杉山 聖



年頭の挨拶



会員並びに賛助会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

本年も皆様にとって良い年になる様お祈り申し上げます。又、日頃より西湘放射線技師会にご尽力頂き、誠にありがとうございます。誌面をお借りし、恐縮ではございますが心より御礼申し上げます。

さて、本年は役員改選の年であり、そろそろ候補の先生方を募らなければならない時期になって参りました。技師会現役員としましては、自薦他薦を問いませんので、我こそはと思われる先生がいらっしゃいましたら、是非事務局迄ご一報頂ければ幸いに存じます。

又、役員一同残りの任期満了迄、皆様の更なるお力を拝借し、なお一層会の運営に励んで参りたく思っております。

今年の子の年、年男年女の皆様に於きましては、卒後3年目や定年をお迎えになる方がいらっしゃると思いますが、それぞれに業務を頑張って頂きたいと考えております。特に、3年目に入る皆様は少し余裕が出来始める頃由、ちょっとした気の緩みに注意して下さい。又、還暦と言う節目の年をお迎えになる皆様にあつては、今年一年楽しんで仕事を乗り切って頂きたいと思っております。私自身も人生ほどほどの余裕が大切と考えられる年齢になって参りました。何事にも寛容の精神とでも言うのでしょうか？・・・・・・・・

西湘放射線技師会の益々の発展と皆様のご健康を祈念し、年頭の挨拶に代えさせていただきます。

いつもいつも皆様のご協力の下で会の運営が成り立っている事、心より感謝致しております。

西湘放射線技師会
会長
中根 精

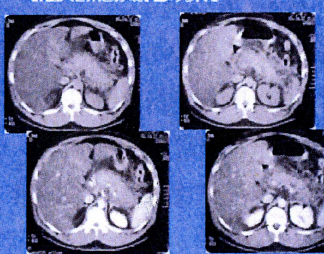
07' 学術報告

山近記念総合病院の大久保です。思い起こせば2002年学術担当になって6年。学術発表が、マンネリ化しつつあるなか提案した“会員による会員の為の発表”でした。言いだしっぺでもある私自身発表する破目になってしまい緊張しながらの講演今でも覚えています

講演内容 “重症型急性膵炎(壊死性)の動注療法 技師の役割”

重症型急性膵炎？


- 良性疾患でありながら、非常に死亡率が高い
- 画像的分類にて、CT造影検査が重要な評価ポイント (診断)
- IVPにて速やかな激痛の改善は、臨床的に意義がある (治療)
- 忘れた頃に、やってくる…治療は早ければ早、軽微！ (認識)



膵臓大と非造影域が認められる

まとめ

- 重症型急性膵炎の治療にあたっては、いかに早期の重症化を予知し、進行を食い止めるかが極めて重要！



画像的分類にて、CT造影が重要な評価ポイントでありCT担当者は重症度を速やかに理解することで上記に少しでも貢献できるのではないだろうか

講演内容 “マンモトーム生検 立ち上げから2症例まで ”

マンモトーム生検

- ・何ですか？
- ・目的は？
- ・他のモダリティで確定診断はできないのか
- ・どういったときに、使うのか
- ・症例



ピンポイントで、微小石灰化病変をほぼ100%近く採取でき 確定診断可能

マンモトーム生検113例の病理結果から

Cat 3	60症例	9(15%) 乳癌
Cat 4	51症例	33(65%) 乳癌
		35%が良性であった...
Cat 5	2症例	2(100%) 乳癌

(2009~2001 癌研究会付属病院)

日時 平成19年11月22日(木曜日) 18時30分より
 場所 小田原市立病院 看護宿舎 参加人数32名(会員29名 賛助3名)
 演題名 “MRI造影剤の現状と展望”
 バイエル薬品(株) 診断薬事部学術担当

“MRCPによる画像診断と陰性造影剤ボースデルの有用性”
 協和発酵工業(株)

“マンモトーム生検 立ち上げから2症例まで”
 山近記念総合病院 放射線室 大久保

今年度は会員から発表者の立候補がなかったもので、学術 大久保から発表させていただきました。来年度は困ってしまうほどの立候補者が出ることを期待しています…。学術担当 大久保、瀧本

旅の1頁…

私の旅は、逃避から始まった。

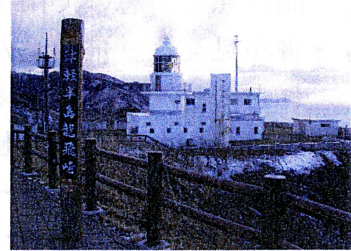
20年程前の職場は、技師の人数が非常に少なく、夜間、休日もポケットベル（当時は携帯電話は少なかった）で呼び出され仕事に明け暮れていた。唯一の休みは月に一回、土曜、日曜の連休だけであり（その時は外部の技師にお願いして）金曜の夜から自由時間が持てた。どこか連絡の取れない遠くの所へ行こうと思い、車であちこち走り回った。金曜の仕事が終わり徹夜で走り続け、北は青森、南は広島、地図をたよりに走りに走った。車はカロラから始まり、スープラ（マニュアル6速ツインキャブ）、カルディナ、現在はクラウンアスリートと乗り継いできた。

初めて青森に行った時は、カロラでエッチラオッチラ東北自動車道を路面の溝にハンドルを取られながら（冬期にチェーンやスパイクタイヤで路面に溝ができてしまう）十和田インターで降り、十和田湖へ向かう途中に「大湯環状列石」の文字が見えたので寄り道をする事にした。頭の中では、昔、社会科の授業で習ったイギリスのストーンサークルを思い描き、日本にもそんな遺跡があるのかと疑いつつ、りんご畑の中にある現場に到着して実物を見た時、イギリスの物より規模は小さいが、確かに石が円形に並んでいた。遠くイギリスと、どんな関係があるのだろうか等、古代空想の世界に入り込んだ。

辺りに姫りんごの可愛い花が咲いていた。近づくとりんごの木を手入れしている地主さんにあった。いろいろと話しをしてくれたが連れ合いにはまったく青森弁が理解出来ず。自分には遠い昔、子供の頃に青森から冬期援農でみかん収穫に来ていたほっぺの赤いお姉さんの姿ふとよみがえったりもした。

十和田湖、奥入瀬、恐山を回り、津軽半島先端の竜飛岬まで足を伸ばし、日本唯一の石段国道を歩き、燈台の下で食べたいかの丸焼きのうまかった事。

ある時は岩国の錦帯橋が見たくて、中国自動車道を夜中スーパで 180 km/h で飛ばして、一般道に降りスーパーの店頭でたこ焼きを食べようと寄ったら、若い店員がしげしげと車を見て「スピード出そうで



すね。姫路付近では覆面がいるから気を付けてくださいよ。自分は大学が横浜だったんで湘南ナンバーが懐かしいですよ。」などと気軽に声をかけてくれた。地方の情報を取り入れるには、土地の人といろいろ話しをして、関東地方では知られていない穴場に行ったり、うまい料理を食べたりする。宿も事前に予約して行くでも無し、気の向いたところで宿を探す。そんな旅をしている。



津和野の山の上に残る城跡に行くとき、切り立った崖の上

に石垣がさらに伸びて残っている。先端に立ち眼下を望むと足元から吹き上る風の心地よさ。津和野の街並みはるか下の方に見える。畑の向こうに蒸気機関車が走り、まるでミニチュアを見ているようであった。

ある時、清流の四万十川がテレビで放映されていた。以前、四国の山に山口県の秋芳洞カルスト台地と同様なカルスト台地がある事を本で知り、是非行ってみたいと思っていたので9月の夏休みを利用して行った。四国に渡り、琴平さんから、ぐるりと北から西回りに道後温泉から南下して、いよいよカルスト台地に向かった。丹沢の林道のような、これでも国道？と疑いつつ、側からはみ出した岩に車体をこすらぬ様にして、やっと開けた山の上

に出た。羊が緑の山肌の中に居るような風景を楽しんでいたら、だんだん雲行きがあやしくなり雨も降り出してきた。山の中に旅館は無し。急いで山を降りようと尾根道を進むと、山頂に国民宿舎が見えた。飛び込んで一泊を願うと、こころよい返事。やれやれと一息ついて夕食をとっていたら、雨風がひどくなるばかり。天気予報を聞けば台風が四国に近づいているとの事。昔のニュースで室戸台風のイメージが思い起こされ不安がつのった。一夜明けても天候は回復せず横殴りの雨、二泊となった。やっと台風が去り、四万十川の源流を目指し山を下って行くと、いたる所に石がゴロゴロ、風で倒れた木々が道をふさいでいる状態であった。山里に出て、棚田の畦道のような国道を下り、やっと四万十川沿いに出た。地元の人によれば「台風の影響で源流には行けない」との事。やむを得ず、四万十川沿いの道を南下したら、両側の木々が3m位の高さまで茶色く泥が付いている。路面には土が粘土状に溜まっており、車の尻を振りながら進んだ。山の上で宿を取らずに無理して下っていたら、今頃四万十川に流され行方不明になっていたかもと想像すると、背中に冷汗が流れた。

清流の四万十川を見に来たのに、濁流の四万十川であった。まあめったに見られない貴重な経験であったかも知れない。

旅を出発する前に想像していた事より、多くの異なった経験をする。人生も仕事もしかり。人間生きていくことは思う通りにはいかない。あと何年旅ができるであろうか。

今回は循環器中町クリニックの大内三次さんお願いします。

田中宗夫



ちょっとスペースが余ったので、 お勧めのお店情報！

皆さんこんにちは、おかびーです！

近頃一段と寒さが厳しく、そんな寒い時こそ体を温める暖かい食べ物と言えば、鍋！
と思ひ浮かべられますが、最近私がそんな寒い時にハマっている食べ物と言えば、
チョッチ辛いオロチョン・ラーメンです。

太麺で食感も良く、スープが良く絡んで辛・旨！、その辛さがそれぞれ、好みによ
って調整してくれるという、これが私にとっては病みつきになる、ちょ〜旨いお店
なんです！

メニューには、ラーメン屋さんには定番の、みそ・しょうゆ・しお の3種類です。
その他、野菜炒め（店主お勧め）や唐揚げ等豊富にあり、ちょっと一杯お酒を呑む
なんて事も（私が行く昼時には、あまり呑んでいる人は居ませんが！！）出来るん
です！

私がいつも注文するものは、しお 20倍です。これが、まいう〜なんです！

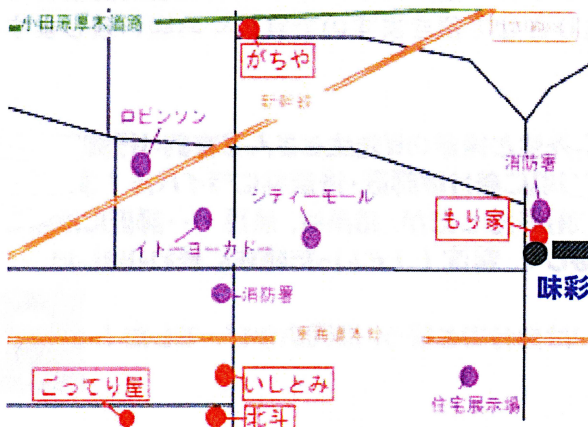
しおラーメンなのに、スープが唐辛子で少し赤いスープなんです。

辛いもの好きの方がいらしゃれば、その上のランクをお勧めします。

一度皆さんも食べに行ってみて下さい。

お店は、お昼時はいつもいっぱい、お昼のラストオーダーが13時30分なので、行
ってみようかな？なんて思われる方は、お昼少し前に行かれると良いかと思ひます。

定休日は月曜日です。



掲示板

平成20年2月8日現在

会員数85名賛助会員数21社

会員の移動

新入会者

小澤 孝行 先生(西湘病院)

退会者

菊池 昭夫 先生(間中病院)

会費納入のお願い

会費の納入は適正な会の運営に支障を来たしますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。(※会則により会費の納入はその年の4月末日迄となっております。)

重要

お詫び

前回地区だよりにて、入会された賛助会員の協和発酵工業株式会社様のお名前が共和発酵工業株式会社と掲載してしまい、此处に訂正とお詫び申し上げます。

お知らせ

当会会長であります中根先生(小田原市立病院)が、去る平成19年11月17日に横浜エクセルホテル東急に於いて開催されました、県技師会創立60周年記念大会にて、神奈川県放射線技師会 会長賞を受賞されました。

当会会員であります小林先生(小田原市立病院)が、去る平成19年11月28日に小田原保健所 所長賞を受賞されました。

当会員であります、岡田先生(小田原市立病院)が、去る平成19年11月28日に小田原保健所 支部長賞を受賞されました。

受賞された皆様、おめでとございます。



総会のお知らせ

西湘放射線技師会19年度総会が、3月21日(金)に小田原市立病院看護師宿舎にて開催されます。後程、出欠の葉書をお送りさせていただきますので宜しくお願い致します。

編集後記

先日の1月18日(金)に、我が師匠と仰ぐN先生と後輩のW先生と3人で夜釣り行脚に出かけました。3人仲良く出かけたものの、いざ釣り場に着けば師匠・後輩共にライバル! 3人中ビリだけにはないたくないと固く決意し、夜通し頑張りましたが、結果は、最悪! 師匠には勝てなくとも、何とか2番には…という願いもむなしく、撃沈!! といった結末に終わりました。

今にみてろよ~!

今年も望みは高く、我が家の夕飯の魚くらいは自分でと誓う、漁民おかぴーでした!

